

ロス・メダノス・カレッジ^(アメリカ・ピッツバーグ市)と学生派遣協定を締結



本学の学生に、アメリカ留学のチャンスが生まれた。受け入れ校は、下関市の姉妹都市、ピッツバーグにあるロス・メダノス・カレッジである。

昨年、11月29日、学生派遣協定の調印式が、ロス・メダノス・カレッジの学長室で行われ、ガルシア学長と堀内学長がサインの交換をした。調印式には、リオス市長をはじめ、ピッツバーグ市や商工会議所の代表者も列席した。

この協定によって、本学から2名まで学生派遣ができるようになり、今年は9月の新学期に間に合うように選抜が行われる。また夏の外国研修（英語）などにも利用できる条件が整った。今後は、次年度中にも本学への受け入れを含めた相互交換交流制度の樹立を目指すことになる。

ロス・メダノス・カレッジはコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ教育自治体に属する公立大学である。学生数は約1万人で、実務・実践訓練教育を重点的に行っている。特に、音響関係技術をはじめとする音楽関係や自動車整備技術の訓練に優れている。2年間のカレッジ教育の後、15パーセントほどの学生が4年制大学に編入する。教員と学生のスムーズなコミュニケーションのために、クラスは15名前後の少人数で編成されている。

ピッツバーグ市は、サンフランシスコから近距離電車で約40分のところに位置する。古くはイタリア人やスペイン人の入植にはじまり、現在は、人口6万人だが、近年、急速に産業都市化している。鉄鋼、化学関連の工場や発電所、天然ガス海底ケーブルの敷設などで知られる。



英語教育センター

本学は、これまでクィーンズランド大学・グリフィス大学（豪州）、東横大学（韓



国）、青島大学・北京大学（中国）、ボアジチ大学（トルコ）と、学生の派遣・受け入れなどで積極的な交流を行ってきた。今回、初めてアメリカの大学と派遣協定の締結を行ったことで、国際交流活動の領域がさらに拡大することになった。（国際交流委員会副委員長 内山浩道）

秋天の下、青島大学訪問



10月16日から22日までの1週間、堀内学長以下、本学教職員12名（柴田同窓会会長も同行）は、下関市大・青島大学友好交流協定15周年の記念事業に参加するため、青島大学を訪問した。往路は、下関市・青島市姉妹協定締結25周年の大訪問団（江島市長団長）の大勢の下関市民と、フェリーが一緒であった。

滞在中、一行は青島大学の夏学長以下、全学挙げての熱烈歓迎を受けた。主な行事は次のとおり。15周年記念植樹、江島市長の講演会、両校の共同研究発表会、友好協定の改定交渉、日本語学部、国際商学院等の教職員・学生との交歓会、企業訪問（青島港、経済技術開発区、経済貿易局、ハイアール等）などである。

今後、両校の交流は一段とハイレベルなものとなる。企業見学を含む語学研修、大学院の相互交流などが検討されているほか、長期的視野に立った研究面での実質的交流として、共同研究プロジェクトが動き出した。情の溢れた熱い交流の1週間であった。（教務部長 川本忠雄）

大学祭を終えて

大学祭実行委員会 委員長 山本 敏也

大学祭実行委員会に入ってから三年間のうち、当然の如く、今年の一年間が私にとって特別な一年になりました。委員長になると正式に決まってから、次第に自分で大丈夫なのかというプレッシャーで押しつぶされそうになる事が頻りにありました。今年の幹部は11名と非常に少なく、部署の仕事を一人で受け持つ幹部も少なくありませんでした。そんな中、1・2年生が約70名も所属しており、下級生のやる気や大学祭を成功させようとする気持ちに助けられながら、今年も無事に大学祭を大成功で終わらせる事が出来ました。むしろ、下の学年の子が居なければ今年の大成功は有り得なかったと思っています。本当に今年の実行委員会のメンバーには感謝しています。

大学祭実行委員会の仕事は、仕事の企画・運営だけしか知られていませんが、土日や長期休暇を返上して“海峡まつり・海峡花火大会・馬蹄まつり”の下関三大祭りへボランティアとして参加しています。こうした地域との繋がりも私達の大学祭の支えとなり、さらに学内サークルの皆さんや大学関係者の方々のサポートがあってはじめて、第43回大学祭が成り立つ事を知らされました。本当にありがとうございました。

正直、この一年間はきつかったです。でも、そんな一年間だったからこそ感動できました。すでに第44回に向けて後継が動き始めています。これからは第44回大学祭実行委員会の幹部が、私達と同じような感動を味わえる様に、OBとして温かく見守ってほしいと思います。第44回の大学祭が成功する様に、またご協力よろしくお願いします。

連続市民講座シンポジウム開催!



去る12月10日(金)、本学附属産業文化研究所主催の連続市民講座を締めくくるパネルディスカッション「生き生きと生きる/」が行なわれた。本年度の講座は「生きる/『不安』の時代に」をテーマとして、本学の教員6名(関野、栗川、衛藤、西田、上倉、横山の各氏)が、各々の専門である経済学、教育学、哲学、文学、心理学の立場から、現代の不安の根源とその克服を論じた。このパネルディスカッションでは、これら講師陣がパネラーとして一同に会し、これまでの一連の講座を踏まえつつ、改めて各人の見方などが述べられた。そして、立場を異にする彼らパネラーたちの間で、経済的な不安定性と精神的不安との関係について、また、不安にどう立ち向かえば、生き生きと生きられるのか、などをめぐって活発な論議が交わされた。



推薦入学・特別選抜・編入学試験を実施

昨年11月20日(土)、本学において2005年度推薦入学・帰国子女特別選抜・編入学試験が実施された。募集人員、志願者並びに合格者数は下表に示すとおりである。

実施結果を前年度と比較すれば、経済学科では、全国推薦受験者数が前年度69名から33名増えたことにより、倍率が2.2倍から3.3倍へと急増したが、そのほかは、下表に示すとおり志願者、倍率ともに減少した。国際商学科では、全国推薦受験者数が14名減少したが、倍率では編入学を除きほぼ昨年度なみであった。

入試実施結果

学 科	入 試	定員	志願者	受験者	合格者	倍 率
経 済 学 科	推薦 全国	31	102(69)	102(69)	31(32)	3.3(2.2)
	入試 地域	33	43(55)	43(55)	33(35)	1.3(1.6)
	帰国子女	2	-	-	-	-
	社会人	3	1(2)	1(2)	1(1)	1.0(2.0)
	編入学	10	18(25)	17(24)	9(6)	1.9(4.0)
国 際 商 学 科	推薦 全国	31	73(87)	73(87)	31(36)	2.4(2.4)
	入試 地域	33	47(48)	47(48)	33(33)	1.4(1.5)
	帰国子女	2	-	-	-	-
	社会人	3	-	-	-	-
	編入学	10	22(33)	20(30)	4(5)	5.0(6.0)

注：() 内数字は2004年度入試実績数。

大学院経済学研究科学生募集(第二次)

以下の要領で平成17(2005)年度学生募集を実施する。

大学院経済学研究科修士課程

募集人員 経済社会システム専攻 若干名
国際ビジネスコミュニケーション専攻 若干名
選抜期日 平成17(2005)年3月13日(日)
試験場 下関市立大学 下関市大学町二丁目1番1号
選抜方法 出願書類・筆記試験・口述試験による総合評価
出願期間 平成17(2005)年2月14日(月)から
2月21日(月)まで(必着)
出願方法 (出願資格に関する詳細は本学教務部へ)
合格発表 平成17(2005)年3月22日(火)
午前10時下関市立大学

平成16年度就職状況

平成17年1月15日現在の就職内定状況は、男子73.25%、女子77.64%、全体で74.94%となっており、前年同時期の62.20%と比較すると、12.74ポイント高くなっている。3月卒業時には、昨年の90.36%を超えるものと想定している。全体的に、就職に明るい兆しが見え始めたといえる。ただ、公務員等、業種によっては厳しい状況が続いている。新4年生にはいっそうの健闘を期待したい。

平成16年度就職内定企業一覧表(平成17年1月15日現在)

建設業 (18)	備JALスカイ九州大分支部	備井筒屋ファッションサービス	飲食・宿泊業 (5)
タマホーム備	備エムケイ	備三松	備サンフィールド
ミサワホーム九州備	備上組	備大塚家具	備ジョイフル
備オンテックス	備釜フェリー備	備東フアディ備	備ゼンショー
備永代ハウス	備光汽船備	山口ダイハツ販売備	備ロッテリア
備穴吹工務店	九州商運備	生活協同組合コープやまぐち	備大谷山荘
備原弘産	西日本旅客鉄道備	日産ディーゼル福岡販売備	医療保険 (3)
備高田工業所	備丸海運備	日本トイズラス備	光風園病院
備屋建設備	東ソー物産備	日本メナード化粧品備	三豊総合病院
備水ハウス備	日本紙運搬倉庫備	福岡トヨタ自動車備	大崎産科病院
備水ハウス備下関支店	日本通運備	金融業 (59)	学校教育 (2)
東京ファブリック	北海道国際航空備	UFD しばき証券株	下関短期大学付属高校
富士校工産備	卸売業 (24)	備ケヒココーポレーション	備トライグループ
製造業 食料品・タバコ (6)	カミ商事備	同地産	その他の教育 (5)
下関酒造備	スターバックスコーヒー・ジャ	同地産	ゴールインコーポレーション備
備ボン・リブラン	パン備	同地産	備Attackコーポレーション
備富士でりかぐるーぶ本社	ナイス備	同地産	備ノヴァ
丸京製菓備	ヤマエ久野備	同地産	備古備NC能力開発センター
西日本フーズ備	備カワニシ	同地産	大原簿記公務員専門学校
備水フーズ備	備さんれいフーズ	同地産	複合サービス (6)
製造業 繊維工業 (5)	備スズケン	同地産	紀南農業協同組合
CSP備	備ダイワボウ情報システム	同地産	山口中央農業協同組合
備ギャザー	備ワキタ	同地産	周南農業協同組合
備ジーベック	備岩崎グループ	同地産	鳥取中央農業協同組合
備ジュエネットインフォメー	備菊谷茂吉商店	同地産	備阿市農業協同組合
ション	備光通信	同地産	鈴鹿農業協同組合
児島備	備山善	同地産	サービス その他 (31)
製造業 印刷 (1)	備池五	同地産	ABCクッキングスタジオ
備マツモト	備富士薬品	同地産	キャノンシステムアンドサポ
製造業 化学・石炭 (3)	寒川商事備	同地産	ート備
エーザイ備	丸紅インテックス備	同地産	サンデン旅行備
備大塚製薬工場	小野建備	同地産	シダックス備
大塚製薬備	仁田商事備	同地産	備E B M
製造業 鉄鋼・金属 (1)	大風天物産備	同地産	備H・I・S
備日本製鋼所	大西商事備	同地産	備アソート
製造業 一般機械器具 (2)	日通商事備	同地産	備サイバー・コミュニケーションズ
新東工務備	牧村備	同地産	備サニックス
日本金銭機械備	小光業 (52)	同地産	備シェイプアップハウス
製造業 電機機械器具 (2)	イオン備	同地産	備スタジオアリス
山口日本電気備	オーエー通信サービス備	同地産	備ダイナム
製造業 輸送用機械器具 (1)	ダイキ備	同地産	備ダスケン
光輪コーポレーション	テンボスバスターズ備	同地産	備ナソミ
製造業 その他 (7)	トヨタカラー広島備	同地産	備パソナ
タカスタンダード備	ネットトヨタ北九州備	同地産	備ブルームフォーラム
一宮製材所	ネットトヨタ山口備	同地産	備ブレインズ
備オリバー	はるやま商事備	同地産	備ベンチャーオンライン
大風工業備	ブックオフコーポレーション	同地産	備ワールドインテック
日之出水道機器備	備	同地産	備総合会計
日本研紙備	マックスバリュ九州備	同地産	備防長トラベル
ト部備IC事業部	備無線備	同地産	備岐阜県保険医協会
電気ガス水道業 (1)	備アブライド	同地産	近畿日本ツーリスト備
山口合同ガス備	備イズミ	同地産	財団法人自動車整備振興会
情報・通信 (16)	備オークワ	同地産	西日本観光サービス備
NTTデータ関西備	備ギモス	同地産	千里丘観光開発備
NTTドコモ中国備	備ザグザグ	同地産	渡辺会計事務所
ハートネットワーク備	備サンキュードラッグ	同地産	日研総業備
モバイルコム備	備ジャパネットたかた	同地産	国家公務 (8)
宇部情報システム備	備ジュンテンドー	同地産	自衛隊
備CSKコミュニケーションズ	備たけうち	同地産	自衛隊幹部候補生
備D T S	備トライアル・カンパニー	同地産	日本郵政公社近畿支社
備T K C	備ナフコ	同地産	地方公務 (9)
備アビバ	備ハローディ	同地産	下関地区広域行政事務組合消
備テレウェイブ	備ビーエルユーイー	同地産	防本部
備光貴	備ビックモーター	同地産	京都府警察本部
備光通信	備ヒマラヤ	同地産	山口県警察本部
備山口情報処理サービスセン	備ビュア	同地産	山口県庁
ター	備ファイブフォックス	同地産	新潟県庁
大分合同新聞社	備フジ	同地産	福岡県警察本部
中央出版備	備フジカンパニーズ	同地産	福岡県庁
日本放送協会	備フタタ	同地産	兵庫県警察本部
運輸 (19)	備フタタ区書	同地産	北九州市消防局
下関海陸運送備	備ホンダブリモビル山	同地産	

準硬式野球部中国地区大会優勝

再び全国大会へ

準硬式野球部が秋季中国地区大会（一部リーグ）において、4勝1敗の成績で優勝をとげ、昨年に引き続き、今年夏に開催される全国大会への切符を手にした。4年生が抜けた新チームが、再び、地区ナンバーワンの実力を証明することとなった。

地区大会は昨年10月に、岡山大学グラウンドを中心に行われた。戦績は以下のとおり。

10/2	対島根大学	9-2〇
10/3	対鳥取大学	1-6×
10/9	対岡山大学	8-2〇
10/16	対東亜大学	6-1〇
10/17	対広大医学部	9-2〇

◇

◇

準硬式野球部を含めて、運動部の秋季大会での主な成績は以下のとおりである。前号で紹介した春季に続いて、健闘が目立った。

サークル名	大会名	種 目	成績	
弓 道	秋季山口県	女子団体	2位	
弓 道	秋季山口県	女子個人	2位	東出 紀子
剣 道	秋季東北インカレ	女子団体	2位	
硬式野球	秋季東北インカレ	男子 単	1位	穴田 勇平
硬式野球	秋季東北インカレ	男子 単	2位	松永 貴成
硬式野球	秋季東北インカレ	男子 複	2位	松永・柳谷
硬式野球	秋季東北インカレ	男子団体	1位	
硬式野球	秋季東北インカレ	女子団体	3位	
軟式野球	山口県学生選手権大会	女子団体	2位	
軟式野球	山口県学生選手権大会	女子 複	3位	元山・清水
準硬式野球	中国地区秋季		1位	
準硬式野球	中国地区秋季	最優秀選手賞		田部 謙典
準硬式野球	中国地区秋季	最優秀投手賞		永田 佳久
準硬式野球	中国地区秋季	ベストナイン賞		駒走 宏太
準硬式野球	中国地区秋季	一塁手		立石 哲朗
少林寺拳法	山口県大会	一般段外	1位	石橋・平田
少林寺拳法	山口県大会	一般段外	3位	平塚・杉本
少林寺拳法	山口県大会	式 段	2位	小西・早川
少林寺拳法	山口県大会	一般女子初段	2位	下藤・大平・山崎
少林寺拳法	中国地区大会	一般男子段外	1位	石橋・平田
少林寺拳法	中国地区大会	一般男子段外	2位	田中・西園
少林寺拳法	中国地区大会	一般男子式段以上	1位	小西・早川
少林寺拳法	中国地区大会	単独演武	3位	大庭
少林寺拳法	中国地区大会	団体演武	2位	田中他5名
少林寺拳法	中国地区大会	団体演武	3位	平塚他6名
卓 球	秋季東北インカレ	男子団体	2位	
卓 球	秋季東北インカレ	女子団体	3位	
卓 球	山口・北九州八大学定期戦	団 体	3位	
バスケットボール	秋季東北インカレ	女子団体	2位	
バスケットボール	秋季東北インカレ	男子団体	2位	
バドミントン	秋季東北インカレ	女子団体	3位	
バドミントン	秋季東北インカレ	女子 複	3位	松本・池田
陸上競技	山口県体育大会	4×100mリレー	3位	定平・浜田・原田・溝部

リーダーシップトレーニング行われる



昨年、12月9日（木）に、厚生会館2階談話室で、今年度第1回目のリーダーシップトレーニングが行われた。各サークルの幹部交代の時期にあわせてのものであり、2年生を中心に各サークル・団体の新幹部、48名が参加した。

トレーニングは、「チームの結束を高めるために」をテーマに、小笠原正志助教授の自らの体験を交えた講話で始まった。参加者は、関連サークルごとに7つのグループに分かれ、自分が率いるサークルの強みと弱みを自己分析した上で、抱えている問題をどのように改善すればよいかを、グループごとに話し、その結果を代表者が報告した。食事をはさんで、全体で約3時間程度であったが、課題に取り組む参加者のきわめて真面目な姿勢が印象的であった。次回は学生主導で2月中旬に行われる。

学生団体新役員紹介

中央委員会



委員長	川口 昂記	経済学科	2年
副委員長	山本 大輔	経済学科	2年
副委員長	藤野明日美	国際商学科	2年
書記長	高下 靖子	経済学科	2年

体育会



会 長	瀬戸 亮一	国際商学科	3年
副 会 長	早川 直孝	国際商学科	3年
書 記 長	是澤 和起	国際商学科	3年

文化会



会 長	品川 裕考	経済学科	3年
副 会 長	村元 陽平	国際商学科	3年
書 記 長	若宮由香理	国際商学科	3年

大学祭



委員長	嶋田 和弘	経済学科	2年
副委員長	山田 徹	経済学科	2年
副委員長	宅野 太士	経済学科	2年

中国語弁論大会で入賞

2004年11月28日、東京・創価大学で開催された第31回創価大学創立者杯中国語弁論大会において、クイーンズランド大学からの交換留学生、ポール・マグリーさんが第2位に入賞した。

また、12月5日には、西日本の学生が参加する燎原会主催の第28回中国語暗誦・弁論大会が大阪で行われ、本学国際商学科3年の上坂みゆきさんが第2位に入賞した。燎原会の弁論大会には本学の学生は毎年参加して、優秀な成績をおさめている。今回の上坂さんの入賞で、本学は5年連続の入賞を果たした。

インターンシップ報告会



11月26日、本学223番教室でインターンシップ報告会が開催された。本年度は、下関市役所、武久病院、下関信用金庫など14の事業所が、夏季休業期間中を中心に1～4週間の日程で本学学生を受け入れていただいた。

大学院留学生1人を含む36人の2～4年生が、受け入れ事業所職員、教員、一般学生などを含む約60人の聴衆に向かって、それぞれの体験発表を行った。学生たちは志望動機や設定した自己目標、日々の研修内容の紹介や反省点、要望点などについて数分ずつの発表を行い、聴衆からの質問に答える形で進んだ。多くの学生が、実際の職場環境に触れて、職業意識の向上に役立ち、職業選択にとって有意義な体験となったことを紹介した。

(インターンシップ委員会 委員長 榎本晋一)

李海珠先生 学術講演会



1月7日(金)、大学院と学部の両学会の共催で、李海珠先生の学術講演会が開催された。李先生(元釜山大学および福岡国際大学教授)は、学部(1987年から昨年度まで)と大学院で(2000年から今年度まで)、「韓国経済論」を非常勤講師として担当されてきたが、これが最終講義となった。「経済発展と儒教の再照明—韓日比較経済史的視点—」という論題の興味深い講演に、約30名の教職員・院生・学生が熱心に耳を傾けた。

注目してください。市立大学学会!

学生の皆さんと教員がつくっている学会は、会員の学術活動を支援するアソシエーションです。会員の論文を発表する論文集の発行の他、教員の学術研究活動を奨励する事業も行なっていますし、講演会活動もおこなっています。

2004年度の学会主催講演会のうち、第1回目はすでに掲載していますので、2回目以降のものを紹介します。

・11月5日、国際情勢講演会(西日本国際交流推進協会ならびに外務省共催) 外務省大臣官房文化交流課長片山和之氏「これからの日本の文化交流」(聴講者32名)。

・12月9日、くるまざセッション第1回経済学科4年生高野裕樹君「オーストラリア・グリフィス大学の学習プログラムとその目標—1年間の留学経験から—」(聴講者35名)。くるまざセッションとは、会員が車座を囲むがごとく自由に報告しあい、意見交換しあおうとの趣旨で始めたものです。

・年明けて1月7日、特別講演会(大学院学会との共催) 大学院非常勤講師の李海珠釜山大学名誉教授「経済発展と儒教の再照明—韓日比較経済史的視点—」。

教員委員3名と学生委員2名が協働して運営している市立大学学会の活動にご注目ください。講演会にもどしどしご参加ください。

(学会運営委員長 道盛誠一)

私の研究

理事長 李(青島大学)



今度、姉妹校の青島大学から友好交流プロジェクトの一つとして客員研究員の身分で参りました程長泉と申します。今年はちょうど青島市と下関市姉妹都市締結25周年、青島大学と下関市立大学姉妹校締結15周年にあたり、10月に青島市と青島大学では色々な記念行事がありましたために予定より一ヶ月ほど遅れて参りました。今年3月末までという大変短い期間なので研究や勉強に忙しい毎日を送っています。

1991年に大学院を出て中山大學で3年間ほど日本語を教え、どうしても南の生活に慣れきれず生まれ故郷の山東省に帰り、5年間ほど貿易会社に勤めてまた教職(私には天職)に戻り、青島大学で教えて今年で6年目を迎えます。青島大学日本語学部では3年生の精読(intensive reading)と国際貿易実務の授業を担当しています。仕事柄、大学における日本語教育の再検討というテーマでテキストの開発や教授法の改善を研究しているほか、ずっと前から石坂洋次郎の研究に取り組んできています。中国ではあまり知られていない、日本でもほとんど読まれない作家になってしまっているようですが、日本文学史上簡単に大衆文学作家として位置付けられ、片付けられている石坂に韓文学から大衆文学への転換があったことを作品と作家の内面から解き明かし、得るべき評価を得ていない石坂文学を再評価することに研究の意味を求めていると思います。

こちらで皆様より数々の心温かいご親切を頂いていることを本当に嬉しく心強く思っています。大変短い期間で非常に残念に思いますが、また近い将来皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

外国研修で学んだこと

経済学科1年 重村 祐介



私にとってこの外国研修は非常に有意義なものだった。今までにない貴重な体験が出来たからだ。

天安門広場に行ったときに私が一番印象に残ったのが、広場の大きさではなく、建物の壮大さでもなく、何の入れ物を手にして私たちに物乞いをしてくる人たちの姿だった。中国が、北京が、どんどん発展していく中で、それとともに顕著になってくる貧富の差を目の当たりにしたような気がした。そんな人たちのために自分は何か出来るのか、何をしなければならないのか、今必死になって模索している。私は出来ることならそういう人たちの力になれる職業に就きたいと考えるようになった。もしこの外国研修に行かなければ、そのような考えは浮かんで来なかっただろう。

中国に着いたばかりの頃は、中国の人が何を言っているのか全く理解することが出来なかった。会話したいと思っても言葉が全く浮かんで来なかった。しかし約2週間の中国での勉強、生活で、少しずつ何を言っているのかわかるようになってきた。レジの店員さんが値段や「細かいお金無いですか?」と言っているのが理解できるのだ。自分が「名前はなんですか?」、「いい天気ですね」と中国語で言ってみると、それを理解して返事を返してくれるのだ。小さなことかもしれないが、私にとってこれほどうれしいことはなかった。

また外国研修に行き、自分の中国語がどれだけ成長しているのか試してみたい。

異文化に接する—大学生訪韓研修に参加して—

経済学科3年 竹久 祐樹

私は昨年(2004年)の11月15日から25日までの期間、日本の外務省および大韓民国外交部主催の大学生訪韓研修に参加してきた。これは毎年一度、全国の大学から韓国に対して深い関心を持つ学生を選抜し、新しい日韓の友好親善関係を構築するために日韓両国政府が協力し、両国の国費によって実施されている派遣事業である。2002年に開催された韓日W杯と韓流ブームとが重なって、韓国に関心を持つ学生が増加するなか、昨年の応募総数は28人(大学)の定員枠に対し、過去最多の162人に上った。

滞在中の大半はソウル市内で過ごした。韓国政府主催による昼餐および晩餐会では、政府関係者の方々と日韓間における政治経済の問題について、大学訪問では現地の学生らと今後の日韓関係や、北韓(朝鮮民主主義人民共和国)との統一などについて意見を交わした。また日程をともにした日本各地の大学生とも、韓国の話題で盛り上がり、同じ国に興味を抱く全国各地の大学生と出会えたことは、何よりの収穫であった。唯一心残りと言え、韓国人との交流が言語の問題で十分に果たせなかったことである。今後の自身の課題となった。

今回の研修で感じたのは、本学が学生同士、学問的に刺激あう場があまりに限定されていないかということだ。帰国後も研修で出会った学生同士、「どんな本を読んだか」「どんな授業を受けたか」などを「掲示板」やE-mailでやりとりしながら切磋琢磨している。いまま刺激あっているのだ。単に海外の大学との単位互換制度の整備だけに留まるのではなく、日本国内の他大学の学生との学問的交流



こそ、いまわが大学に最も要求されていることではないだろうか。「大学生は市大の学生だけではない」、今回の研修で痛感したことである。

教育実習を終え、そしてあこがれの教師へ

国際商学科4年 元山 亜希 経済学科4年 村松 宏美



教育実習期間を振り返ると、とにかく忙しい日々でした。とりわけ、授業は苦労の連続でした。教科書の言葉を、幅広い視点からどれだけ生徒にわかりやすい言葉で伝えることができるか、そのこと

で毎日頭がいっぱいでした。わからないところを質問してくる生徒だけではなく、一人一人に声を掛け説明していくこと、そしてクラス全体でわかっていないところ、または間違いが多いところを把握し、何度もしつこくいくに説明

していくことが大切だと感じました。

また、子どもたちとは積極的にコミュニケーションをとるように心がけました。授業で失敗をして落ち込んでいても、子どもたちと話をすると元気になります。教師として子どもたちに与えるだけでなく、子どもたちからたくさんものをもらいました。とても幸せなことだと思います。子どもたちは教師をまっすぐに見ています。教師は子どもたちに対してまっすぐにぶつかっていかなければならないと感じました。こちらが一生懸命に接すればそれが生徒に伝わります。

私たちは、生徒一人ひとりをしっかり見守り、授業でもその他の時間でも真剣に取り組む指導のできる教員になりたいと思っています。ですが、2週間という短い教育実習の時間では、知識も経験も不足しているし、まだ教えるという立場に不安を感じ、自信がないのも現状です。しかし、新たな出会いに向けてワクワクしている気持ちもあります。これからも勉強を続けて、いつか理想の教師になれるように頑張っていきます。

MINKEN —地域とともに—

国際商学科2年 高山 愛



私たちMINKEN（民話研究会）は、市のボランティアサークルにも加盟している公式サークルです。男12人、女8人の計20人で構成されています。活動内容は、主に年に最低2回、公民館や幼稚園を訪問し、自分たちで制作した人形劇や紙芝居、劇を見せたりして子供達とコミュニケーションを取るというものです。そのために毎週月、水、金曜日には、部室（ボックス）を中心に厚生会館3階のホールや会議室、教室を借りて練習に励んでいます。今年は、春に木の葉保育園を訪問し、創作『ピーターパン』の人形劇をしました。秋には、北部公民館で、2回にわたり創作劇を公演しました。そしてある養護施設のクリスマス会のお手伝いに繰り出したりもしました。オフに入ったときでも、夏には合宿と称した旅行やキャンプ、冬には、全員参加の旅行があります。毎年、内容が充実しているといわれるので、来年もまた新たな行事を増やそうと、次期幹部メンバーたちは必死です。とりあえず今は、オフに入りました。しかし、来年の計画はすでに立案中です。そしてその間も、メンバーたちが疎遠にならぬよう、遊びを企画して集まります。とにかく、少数の部員ということもあってか、学年、性別を超えてとても仲良くやっています。今後はもっともっとみなさんに知ってもらおうと考えています。MINKENをよろしくお願いします。

地域の小学生と国際親善

李 銀 美（東莞大学・交換留学生）



私たち—金奉宣、李銀美、姜善恵—は9月26日菊川町立豊東小学校を訪問しました。訪問前は心の中が不安と緊張でいっぱいでしたが、実際に行ってみると親切な先生方と明るく人懐っこい6年生の生徒たちが優しく出迎えてくれ、そのような気持ちは一気に吹飛びました。

まず、私たちは「アンニョンハセヨ」と韓国語であいさつを交わしました。日本と韓国はとても近く、最近の「韓流」（韓国ブーム）もあり、みんなとても上手でした。それからチヂミ（韓国風お好み焼き）を一緒に作りました。チヂミのひっくり返し方やタレの作り方などを教えてあげ

健康運動を通しての地域貢献

健康・スポーツ科学助教授 小笠原 正 志

私は、本学に2003年10月に赴任するまでは、健康運動指導士としてウォーキング、筋力トレーニング、ストレッチ体操などの運動を市民に教えていた。赴任早々、「市大に若い(?)体育の先生が来た」という情報を聞きつけた「高齢社会をよくする下関女性の会ホームイ」という市民団体の代表者田中隆子さんから、是非協力してほしいと口説かれた。それは、「下関の高齢者に筋力トレーニングを普及していきたい」という熱い思いであり、地域との接点を模索していた私にとっては「渡りに船」。高齢者の筋トレは、自分の研究課題の一つであり、しかも大学の地域貢献にもつながる。まさに「一石二鳥」。

ホームイが毎月第一土曜日に大学町3丁目公民館（学生会館の裏手）で実施する高齢者サロンの中で、04年4月から筋トレ運動を教えている。毎回、下は50歳代から上は80歳代までの大学周辺の市民が20名程度参加する。指導のポイント、一日一万歩以上を目標に歩き、できれば週180分以上のウォーキング量となること、そして踏み台運動を週30分程度することの2点である。この踏み台運動は、各人の体力に応じて、15cmから20cmの高さの台を毎分60拍から90拍のリズムで昇降することで、足の筋肉を無理なく鍛え、「老化は足から」来ることを未然に防ぐことを意図している。サロンでは月に一度しか指導できないという限界があるものの、脳血管疾患のため足がフラフラしていた80歳代の参加者が、だんだんと脚力がつきバランスが回復してきた成功例もでてきた。

高齢社会を明るく生きる、つまり健康のまま老いたいというのは万人の願いであり、そのためには体力の維持は欠くことができない。それだけに健康づくりのための運動を具体的に知りたいという市民のニーズは高い。これまで指導現場で培ってきたノウハウを活かし、市大の地域貢献の一環として、筋トレを下関に広めていきたい。



ました。私は料理があまり得意ではないので少し不安でしたが、みんなよく協力してくれ、楽しく作ったのでとても美味しいチヂミができました。「カラ〜イ、カラ〜イ」といながらも辛いキムチをたくさん食べているみんなを見て、韓国の食べ物をもっともっと紹介してあげたいと思いました。そして体育館に移動して韓国のゲームを紹介したり、みんなと一緒に10人11脚のゲームをして遊びました。みんな笑顔で一体となって夢中になっていました。

昼休み、私たちは校長先生から学校の歴史や伝統などをいろいろなお話をうかがい、記念写真などを撮っていただきました。昼ごはんは全生徒と先生方みんなでお給食をいただきました。3〜4時間という時間をとても短く感じました。お別れするときはとてもさびしくて、とても名残惜しかったです。

私たちは今回の体験を通して普段の生活では決して味わうことのできない貴重な時間を過ごすことができました。次にまたこのような機会があれば、是非参加したいと思っています。

下関市立大学後援会援助規程による表彰

(平成16年3月・平成16年10月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

- 平成16年度中国地区大学準硬式野球春季リーグ戦
第1部 第1位 準硬式野球部
- 第34回中国四国学生選手権水泳競技大会兼
第33回中国四国公立大学水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 第2位 山田雅也
男子200m背泳ぎ 第2位 山田雅也
- 第35回中国四国学生選手権水泳競技大会兼
第34回中国四国公立大学水泳競技大会
男子200mバタフライ 第2位 中野孝彦
- 少林拳法第1回中国地区学生大会
組演武女子段外の部 第1位 大平・下脇・山崎
組演武男子初段の部 第1位 石井・近江
- 第32回山口県少林拳法大会
組演武一般二段の部 第2位 小西・早川
- 中国四国学生室内テニス選手権大会
男子ダブルス 第2位 穴田晃平(もう1名は他大学生)
- 平成15年度春季北九州学生テニス選手権
男子ダブルス 第2位 穴田・松永
- 平成16年度春季北九州学生テニス選手権
男子シングルス 第1位 松永貴成
男子ダブルス 第2位 松永・柳谷
- 平成16年度春季中国四国学生テニス選手権大会
男子ダブルス 第2位 穴田晃平(もう1名は他大学生)
- 平成16年度夏季中国四国学生テニス選手権大会
男子ダブルス 第1位 穴田晃平(もう1名は他大学生)
- 平成16年度中国学生テニストーナメント大会
男子ダブルス 第2位 穴田晃平(もう1名は他大学生)
- 第17回春期北九州・下関地区学生ソフトテニス選手権大会
女子ダブルス 第2位 日野原・元山
- 平成15年度秋季山口県ソフトテニス選手権大会
女子団体 第1位 ソフトテニス部
女子ダブルス 第1位 日野原・元山
- 平成15年度北九州・下関地区学生テニス大会秋季大会
男子シングルス(硬式) 第1位 穴田晃平
男子シングルス(硬式) 第2位 松永貴成
男子ダブルス(硬式) 第1位 穴田・藤野
男子ダブルス(硬式) 第2位 藤ヶ原・松永
- 第50回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
ソフトテニス競技女子団体 第1位 ソフトテニス部
剣道競技男子個人 第2位 桃井 弘
- 第50回北九州・下関地区大学体育大会秋季大会
硬式蹴球競技男子団体 第1位 硬式蹴球部(男子)
硬式蹴球競技女子団体 第2位 硬式蹴球部(女子)
ソフトテニス競技女子団体 第1位 ソフトテニス部
- 第51回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
陸上競技女子400m走 第1位 岡部香織
陸上競技女子100m走 第1位 西村美由紀
陸上競技女子走り幅跳び 第2位 西村美由紀
バスケットボール競技 第2位 バスケットボール部(女子)
- 全日本中国語スピーチコンテスト第13回兵庫県大会
第1位 藤井亮光
- 第27回中国語暗誦弁論大会(燎原会主催)
弁論の部 第2位 須田峰佳

【各種資格取得報奨】

経済学科

- H16.3卒 引野 健一 初級システムアドミニストレータ
下村 亮平 初級システムアドミニストレータ
原田 佳子 初級システムアドミニストレータ
4年 関 康宏 初級システムアドミニストレータ
4年 高野 裕樹 TOEFL 213点以上
4年 “ 実用英語技能検定 準1級
4年 吉田 真人 初級システムアドミニストレータ

- 4年 吉田 真人 基本情報技術者試験
4年 “ 秘書技能検定 2級
4年 林 政芳 秘書技能検定 2級
3年 飯塚 裕子 秘書技能検定 2級
3年 山崎 梨絵 国内旅行業務取扱主任者
2年 吉野 真樹 秘書技能検定 2級

国際商学科

- H16.3卒 福田 将也 販売士検定 2級
9卒 湯川 陽平 中国語検定 準2級
4年 内田真希江 秘書技能検定 2級
4年 小林 正幸 基本情報技術者試験
4年 新開麻樹子 秘書技能検定 2級
4年 谷口 友美 秘書技能検定 2級
4年 佐々木俊介 ハングル能力検定 準2級
4年 重益 礼子 初級システムアドミニストレータ
4年 野村美奈子 国内旅行業務取扱主任者
4年 高山 美保 一般旅行業務取扱主任者
3年 蟹井 愛子 秘書技能検定 2級
3年 岡 瑞璃 中国語検定 準2級
3年 鬼武ひろみ 初級システムアドミニストレータ
3年 竹山久美子 秘書技能検定 2級
3年 益田 暁子 中国語検定 2級
3年 山本 龍一 簿記検定(商工会議所) 1級
3年 渡部俊太郎 初級システムアドミニストレータ
2年 西角 豊 TOEIC750点以上
2年 古谷 勝男 中国語検定 準2級

行事記録(2004年9月~12月)

- 9月1日(水) 春学期定期試験(~14)
15日(水) 第2回就職ガイダンス
18日(土) 大学院入試
21日(火) 市民大学(中国語会話初級)(~12/21)
22日(水) 市民大学(英会話上級)(~12/15)
市民大学(朝鮮語会話初級)(~12/15)
27日(月) 大学院合格発表
30日(木) 春学期卒業式
10月4日(月) 秋学期授業開始
市民大学(コンピュータ中級)(~12/6)
29日(金) 大学祭(~11/1)
11月5日(金) 市民大学(連続テーマ講座)(~12/10)
『生きる/「不安」の時代に』をテーマに
5回の講演とパネル・ディスカッション
12日(金) 第3回就職ガイダンス
20日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・
編入学試験
29日(月) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・
編入学合格発表
12月7日(火) 市民大学(健康・スポーツ)(~1/18)
25日(土) 冬季休業開始(~1/7)
28日(火) 公務納め

平成17年度行事予定

- 4月1日(金) 春季休業(~7)
8日(金) 入学式
9日(土) オリエンテーション(~11)
12日(火) 春学期授業開始
6月1日(水) 開学記念日
7月19日(火) 春学期補講(~22)
23日(土) 夏季休業(~8/31)
7月30日(土) オープンキャンパス(予定)
9月1日(木) 春学期定期試験(~14)
30日(金) 春学期卒業式
10月3日(月) 秋学期授業開始
28日(金) 大学祭(~10/31)
12月24日(土) 冬季休業(~1/6)
1月24日(火) 秋学期補講(~26)
2月1日(水) 秋学期定期試験(~14)
3月25日(土) 卒業式